

「 S A R Sより恐い無知 」(協同組合通信/日和見論弾) 15.7.2

N P O法人日本ヒューマン・アニマル・ボンド・ソサエティ (J - H A B S) は自然の中での人間と動物のふれあいが、子どもたちの健康な脳の発達に不可欠、全人教育に効果的と説く。空前のペットブームだが、動物と人間の絆が正しく理解されておらず、その啓蒙と普及活動中。二月に、神戸市の小学校でインストラクターによるH A Bの体験学習を行い、子供達の歓声と喜びに包まれた。地元NHK神戸で放送された。

J - H A B S加藤会長は広尾で動物病院を経営し、コロラド州立大学の教授を兼ね米国最新動物医療技術を吸収・実施している。広く関係者に呼びかけ、正しいH A Bの普及で自然保護と教育活動に八面六臂。

五月二十三日、J - H A B S事務局は厚労省記者クラブに「S A R S対策に関して提案 (実質的処方箋)」を説明し提出。

重大なS A R S禍だが、既に病原菌はコロナウィルスと特定され周知の事実。消毒・衛生処置の徹底で、中国内の新たな感染は下火となるも、依然根拠なきデマとニュースの山。先月六日某キー局のキャスターの無知に驚きを越え、その厚顔さに言葉がない。朝の番組で、正体不明のS A R Sには対策がないと。

公共電波を使い勝手に解説するが笑止千万。無知で科学知識なき者を延々と起用するテレビ局も不可解。無意味な事を多言し、視聴者を不正確な情報で惑乱させている。

北朝鮮の拉致報道と同根。以前は拉致はなし、家族の切なる要望は全て無視。一旦風向きが変わるや、一斉に北朝鮮は鬼。拉致被害者は難壇。

この無節操・無理解がS A R Sを大禍とした。原因は戦後義務教育の欠陥。

島根県知事は、既に文科省に見切りをつけ裁判事件。六三制の見直しどころではなく、文系中心の現行官僚組織が機能せず。科学知識なき行政担当者にS A R Sの正しい解決策なし。

米国炭疽菌事件は二酸化塩素で解決済。S A R Sウィルスはそれより弱い。

その気なら一ころ。全文を当社サイトで公開中。S A R Sより恐いのは永山則夫も泣いた無知。情報を流す者達銘すべし。

(気象情報システム株式会社 高津敏)